

令和8年度 第1回南アルプス市権利擁護・成年後見制度利用促進協議会
議事録

日 時 令和8年6月23日(火) 9時59分～11時18分

場 所 南アルプス市役所 新館地階 第1会議室

出席委員	花輪 仁士	杉本 修	保坂 辰男
	倉澤 竜馬	今村 幸治	望月 一夫
	小倉まなみ		

欠席委員 (なし)

事 務 局	福祉総合相談課	課長 宮下 学	金丸 茂永
		千野慎一郎	池田 理沙
	介護福祉課	課長 樋泉 孝司	塚原 麻理
		前橋真由美	野田 利香
		清水健太郎	高野 翔太
		平野 史晃	
	障がい福祉課	課長 坂本 強	河野 慎二
		沢登 槇師	

関係機関	成年後見センター	渡辺 貴弘	高尾 忍
	(南アルプス市社会福祉協議会)		

傍 聴 者 2名

開会 午前 9時59分

1. 議事(要旨)

(1)令和 7 年度権利擁護事業報告及び令和 8 年度事業計画について

→事務局より、令和 7 年度事業報告及び令和 8 年度事業計画について説明。

【内容・意見】

- ・重層的支援体制整備事業と中核機関機能の一体的運営を推進した。
- ・支援調整会議を開催し、成年後見制度利用や権利擁護支援について検討を行った。
- ・市民後見人養成研修や各種研修会を実施した。
- ・令和 8 年度は意思決定支援の普及や支援調整会議の充実を図る。
- ・市民後見人養成事業や成年後見制度の普及啓発を継続する。
- ・身寄りのない高齢者等への支援や新たな金銭管理支援の仕組みについて検討を進める。
- ・簡易な金銭管理支援の仕組みづくりについては、施設やグループホーム等の現状把握を進めながら検討していく必要がある。
- ・民法改正を見据え、地域の実情に合った権利擁護支援体制を整備することが重要である。

(2)身寄りのない高齢者等への対応について

→事務局より、単身高齢者の増加や社会福祉法改正等を踏まえた課題と今後の方向性について説明。

【意見】

- ・身寄りのない高齢者への対応は以前から課題となっており、今後さらに増加が見込まれる。
- ・親族がいても支援を受けられないケースや関係が希薄なケースも多い。
- ・地域での見守りや情報共有の仕組みが重要である。
- ・障害分野においても親亡き後や単身生活者への支援が課題となっている。
- ・医療同意、身元保証、金銭管理など課題ごとに整理して検討する必要がある。
- ・本人の意思や意思決定支援を尊重した支援体制づくりが求められる。
- ・地域、医療機関、福祉事業所、行政等が連携した支援体制の構築が必要である。

【今後の方向性】

- ・市内の医療機関、介護事業所、障害福祉サービス事業所等を対象としたアンケート調査の実施を検討する。
- ・身寄りのない高齢者等への支援に関する学習会や情報共有の機会を設ける。
- ・社会福祉法改正や成年後見制度見直しを踏まえながら、地域の支援体制整備について検討を進める。

2. まとめ

協議会では、成年後見制度の見直しや社会福祉法改正を見据え、身寄りのない高齢者等への支援体制のあり方について意見交換が行われた。

今後は、市内関係機関への実態把握を進めるとともに、地域全体で権利擁護を支える体制づくりに向けた検討を進めていくことを確認した。

閉会 午前 11 時18分